

新宮山彦ぐるーぷ第2078回

行仙宿の整備と状況確認

◇実施日：2020年5月3日（日）晴後小雨

◇参加者：瀧本昭太郎、梶野照雄

2名

昨日の瀧本さんからの連絡で、行仙宿の状況確認を行った。昨年は4月30日から5月6日まで、毎日出かけたので、今年は少し間隔がある。



R169の崩落現場

登山開始

行仙宿に到着

R169上池原の法面崩落現場では、連日復旧工事が続いている。迂回路の誘導に当たっているガードマンに尋ねると、5月末には通

れるのではないかと、言うことだった。

10時少し前に登山口に着く。階段の上まで登っていた瀧本さんが到着に気づき、降りてこられた。

靴を履き替え二人で登りだす。昨日と違って気温は低く、汗をかくことは無い。じっとしていると半袖ではちよつと寒いくらいだ。今年も気温の変化が大きいように感じる。



水場は涸れる寸前



小屋内の清掃



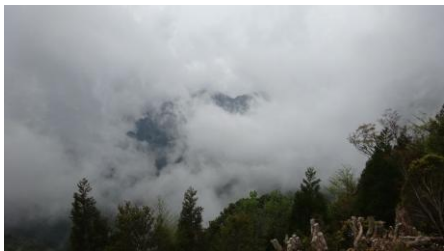
可燃ごみを焼却

第2ベンチ上の伐採地で雑木を一本ずつ持って行仙宿へ向かう。

行仙宿に到着、小屋の掃除を瀧本さんにお任せして水場に降りる。水場の水流は殆ど無く、岩肌から水滴がポトポトたれ落ちる程度になっていた。底浚えをして小屋に戻った。

12時を過ぎていたので昼食にする。食後、掃除の続きと、トイレットペーパーなどのゴミを焼却炉で焼却処分。ゴミがほぼ燃え尽きて小屋に戻ると一名の登山者がいた。順峰縦走者で、テント泊の予定だったが、雨予報のため小屋泊りするようだ。瀧本さんが、「た

ぶん一人だけだと思いが、複数になった場合は離れて休むように」と注意してくださった。



下山開始

雲に霞む茶臼岳

下山完了

午後2時前に小雨が降り出したので瀧本さんが先に下山、2時25分まで小屋にいたが、宿泊は一名のみで後続の登山者は無かった。降り出した雨は10分程で止み、ガスがかかる幻想的な風景の中、下山を始めた。先に下山した瀧本さんに途中で追いつき、登山口まで二人で降りた。

(記；梶野)

行動タイム

10:00登山口→10:57行仙宿→11:30水場→12:10行仙宿15:25
→16:13登山口